

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 調査、検討すべき事項とその内容

(1) 住宅地の現況・環境調査

対象とする住宅地の区域内の①人口、高齢化率、及び建築物の状況（木造かR Cか②等）、道路の整備状況を調査する。
区域内の地区計画などの制度③の有無を調査する。

- ① 端的に表現しましょう。→「対象区域の」
- ② 適切に表現しましょう。→「構造」
- ③ 地区計画は制度ですが、この制度を活用しているかが調査対象です。→「制度活用」

(2) 地域の将来像の検討

都市計画区域マスタープランなどの上位計画からの地域の位置づけ④や住民から構成される協議会からの意向⑤により、地域の将来像を検討⑥する。

- ④ なぜ市町村計画でなく、区域マスなのですか。エリアマネジメントは地域活動なので、市町村計画の方が適当だと思います。また、本業務は計画づくりではないので、上位も下位もありません。
→「都市計画マスタープランの位置付けや」
- ⑤ この協議会が何なのか分かりませんが、なぜ協議会からの意向なのでしょう。単純に住民意向で良いではありませんか。
- ⑥ 誰が地域の将来像を検討するのですか。この検討主体が行政であるならば、地域の将来像はエリアマネジメント団体が検討すべきではありませんか。問題はエリアマネジメントの構築と運営支援なので、エリアマネジメント団体が行う行動は解答になっていません。

(3) 地域の関係者（ステークホルダー）の参加による問題分析

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

将来像の実現に関連する⑦関係者により構成される
⑧ワークショップを開催し、地域の将来像に向けた問題
題を分析する⑨。

- ⑦ この段階で将来像が定まっているのですか。定まっていない場合、関連するかどうかは分かりませんが。→「住宅団地の街並み形成に関連する」
- ⑧ ワークショップは組織ではないので、構成されるは違和感があります。→「関係者が参加する」
- ⑨ これも⑥と同じですね。この問題は計画づくりではありません。組織づくりと運営支援に関することを書きましょう。

(4) エリアマネジメントに即した組織づくり⑩
エリアマネジメントの活動が持続的にできるよう、
既存の自治会や商店街などの団体を核とした組織を検
討する⑪。

- ⑩ これは、問題そのものではありませんか。エリアマネジメント組織の構築に必要な検討事項を書くべきところ、「エリアマネジメントに即した組織を検討する」では解答になっていません。
- ⑪ 組織づくりの際の留意点・工夫点になっています。

2 業務を進める手順⑫

- ⑫ エリアマネジメント推進マニュアルでは、①何らかの契機により、②意識を共有し、③活動を開始するとともに仕組みを整え、④さらに展開 といった手順が示されています。手順が同マニュアルと異なっています。

(1) 組織づくり
エリア内⑬の多くの人の意見を集約し、議論する協
議組織として、「まちづくり協議会」を設立する⑭。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

協議組織を構成する際に、地域の既存の団体を中心とすることに留意する。

⑬ 表現は統一のこと。→「区域内」

⑭ エリアマネジメント組織を構築するために「まちづくり協議会」を設置するのですか。もはや、業務目的が理解できません。詳細に問題設定がされていないので、私の理解が間違っているのかもしれませんが、論文全体の論点が題意からずれており支離滅裂です。

(2) 地域の課題分析や方針の設定 ⑮

地域の建築物や道路整備状況などの現況調査を行い、街並み形成に対して現在の課題と今後の課題について分析する。都市計画マスタープランなどの上位計画や地域住民のアンケートにより地域の将来像を設定する ⑯。

⑮ これはエリアマネジメント組織の行動ではありませんか。

⑯ 見出しは方針の設定です。整合させましょう。

(3) 意識の共有

ワークショップや説明会を開催し(2)で分析・調査した課題や将来像を地域内住民に理解、合意を得る ⑰

⑰ 将来像を知ってもらう手段としてワークショップが適切なのか疑義があります。

(4) 活動と制度づくり

地域住民に対し、既に制度を導入している先進地視察を行う等の活動を行い、制度導入及び効果について

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

理解を得る^⑱。地域にあった計画となるような制度（地区計画、まちづくりガイドライン等）の導入を検討する。行政の建築部門及び都市計画部門との協議調整を行い、実効性のある制度とするため、建築条例の導入に留意する^⑲。

⑱ 主語が不明で誰の行動なのか分かりません（途中で主語が変わっている？）。また、これがどのような業務手順なのかも分かりません。業務手順ではなく、エリアマネジメント組織の活動内容になっていませんか。

⑲ これは留意事項になっていないです。留意事項にするなら、「実効性に留意する」といった文末になるのではないのでしょうか。

3 関係者との調整方策

(1) 協議会

住民や事業者、関係団体、行政等で構成される協議会を設置し、迅速、円滑な意思決定を図る^⑳。また整備計画の内容や管理運営^㉑について検討・調整を行う。

⑳ これは前述にあったまちづくり協議会と違う組織なののでしょうか。また、意思決定とは何を決めるのですか。行動もその目的も良く分かりません。

㉑ 整備計画とは何ですか。誰が何を整備するのですか。また管理も同様です。

(2) アンケート調査

地区内住民に対し、地区の街並み形成における資源やそれらの保全、希望する街並みの整備などについてアンケート調査を行い、結果を計画へ反映^㉒する。以上

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

㉔ この業務は計画づくりではありません。